

日本看護技術学会第 22 回学術集会

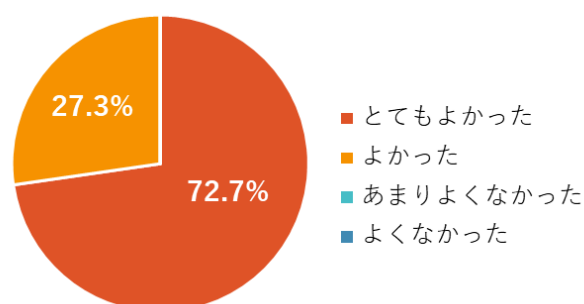
交流セッション「いま再び『温電法』を考える」

開催日時：2024 年 10 月 27 日(日)11 時 15 分～12 時 15 分

回答方法：Google フォーム

回 答 数：22（参加者：約 40 名）

1. 本日の内容はいかがでしたか？

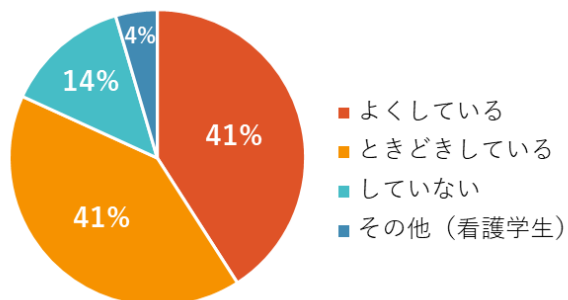


2. 上記の回答の理由をお聞かせください。（18 件）

内容が整理されていてわかりやすかったため
温電法の基礎や注意点などが確認できた。
温電法の効果がよくわかったため
丸山式等詳しく知らなかったので勉強になった
便秘に温電法が効果的であることを知り、これから活用できるようにしていきたい
温電法の効能の再確認ができました。現場ではおしぼりの活用が増えてタオルを使用することが減ってきてますが代替えを踏まえつつ考えていきたいです。
安全性や実施方法について再度確認でき、交流会でも色々な意見を話すことができたため また、川島先生、菱沼先生のお話をきけたこともとても嬉しかったです。
最新の電法のエビデンスと共に、臨床での活用状況や看護基礎教育の状況を伺い、とても勉強になりました。
みなさんと交流できることや、今後のあり方について議論できる場であった。
色々な意見も出て参考になった
意見交換で心も温まった
共有の時間で臨床のお話がきけました。
適用箇所ヒントが得られた気がするので
小グループで教育、臨床の方と話せて、有意義でした。
実際に臨床で働いている方や大学の教員の方々と交流する機会をいただけたから。
参加の方々が電法の意義、教育と臨床の乖離など、同じ思いをしていることがわかったため
グループで情報交換できたことが有意義だった
交流が出来て良かった

3. 普段、温電法をどの程度していますか？

※教員の方は「よく教えている」「時々教えている」「教えていない」に読み替えて回答してください



4. 上記で「していない」（教員は「教えていない」）と回答した方はその理由をお聞かせください。（2件）

現場にタオルがない。タオルの使用が少ない。（非会員，看護師，慢性期病院）
機会がありません（会員，看護教員）

5. 温電法の実践や教育、研究に取り組む中での疑問や困難に感じていることがあればお聞かせください。

（8件）

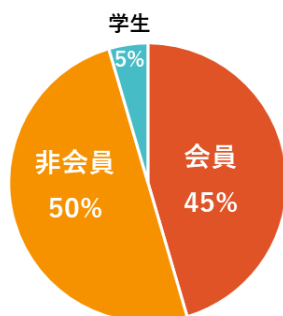
病院で熱い湯がでない（非会員，看護教員）
現場に即したもので活用できる方法も知りたいです。（非会員，看護師，慢性期病院）
準備に時間がかかる（会員，看護師，訪問看護ステーション）
部位、時間（非会員，看護教員）
授業時間の確保が課題です（会員，看護教員）
今年度、学生が卒業研究として電法の効果を実験する時に対象者として協力してもらう学生の条件を揃えることが難しかった。（会員，看護教員）
演習では湯たんぽ、氷枕を実施しているが、臨床では物品さえないこともある。様々な目的があり活用されるべきであるが、臨床ではあまり利用されていない。（会員，その他）
実習では、病院により、熱いお湯が準備できず、効果的に実施できない。現場にタオルがない。タオルの使用が少ない。（非会員，看護教員）

6. 温電法に関して今後取り上げて欲しいテーマなどがあればご自由にお書きください。（7件）

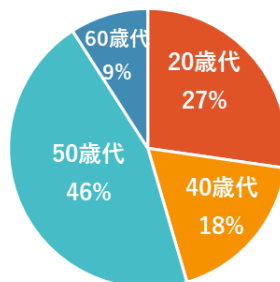
温電法の実施の仕方、効果など（会員，訪問看護ステーション）
タオルがなくても実施できる、安楽である電法（非会員，看護教員）
心をほぐすケア（非会員，看護教員）
温電法と筋肉硬直の緩和（会員，看護教員）
温電法の活用の広がりの可能性を感じました。ありがとうございました。（会員，看護教員）
さらに優れた電法用具の開発（会員，その他）
今年から看護教育に携わる事になり、日常生活の体験そのものが乏しい学生に、生活行動援助の技術を教える事の難しさを痛感しています。私事ばかりで恐縮ですが、直近まで小学校の保健室で働いていたので、温電法は、腹痛改善や保温だけでなく、心を温め気持ちを安らかにするケア、頑張る心を支えるケアであると実感しております。ですから、川嶋先生がおっしゃってい

た、温めるケア、に賛成 1 票です。もう既になされている方と思いますが、温めるケアの精神面への影響についての知見を取り上げていただければと思います。今日は大きな学びをありがとうございました。（非会員，看護教員）

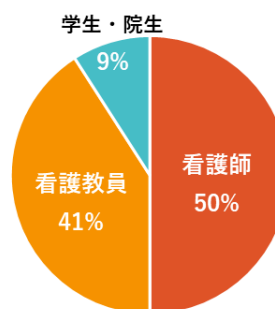
7. 会員の種別



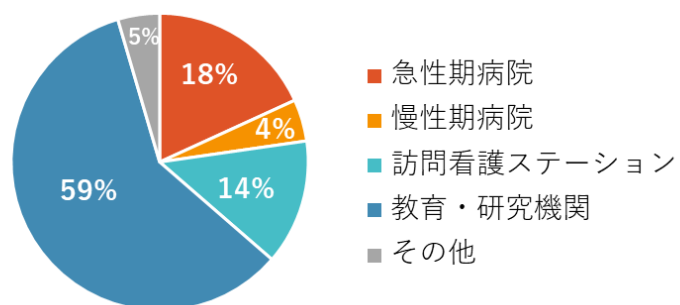
8. 年代



9. 職種



10. 所属



以上